

令和 3 年 5 月 31 日現在

機関番号：12601

研究種目：基盤研究(A) (一般)

研究期間：2016～2020

課題番号：16H02676

研究課題名(和文) 骨軟部腫瘍における診断マーカーの同定と腫瘍概念の再構築を目指した融合遺伝子の探索

研究課題名(英文) Identification of diagnostic biomarker and novel fusion genes of bone and soft tissue sarcoma

研究代表者

松田 浩一 (Matsuda, Koichi)

東京大学・大学院新領域創成科学研究科・教授

研究者番号：90401257

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 35,700,000円

研究成果の概要(和文)：本課題では、骨軟部腫瘍の多様性の分子メカニズムの解明と新規治療方法の開発を目的として、骨軟部腫瘍のゲノム解析・機能解析を進めた。国内28医療機関、14研究機関からなる骨軟部腫瘍ゲノムコンソーシアムのネットワークを通じて、腫瘍、正常検体の収集と対象20疾患(脱分化型脂肪肉腫、腱滑膜巨細胞腫、類上皮肉腫、類骨骨腫、骨芽細胞腫など)について400例を超えるゲノム解析を実施した。その結果、疾患特異的な融合遺伝子として、CTDSP1/2-DNM30S fusion(脱分化型脂肪肉腫)などを同定した。また腱滑膜巨細胞腫における高頻度のCBL変異やDesmoid腫瘍の有用な予後マーカーを同定した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究課題では28医療機関、14研究機関からなるオールジャパンの共同研究体制を通じて、希少がんである骨軟部腫瘍に対する試料・臨床情報収集、ゲノム解析の実施体制が構築された。20の組織型を対象に400例を超える検体を用いた大規模ゲノム解析の成果として、新規の疾患融合遺伝子が腱滑膜巨細胞腫や脱分化型脂肪肉腫で同定された。さらにデスマイド腫瘍や粘液型脂肪肉腫においては複数の予後マーカーが同定され、また骨肉腫に対する治療候補分子も同定された。これらの一連の成果は、希少がんである骨軟部腫瘍の発症メカニズムの解明だけでなく、診断・予後マーカーや新規治療法の開発などの臨床応用につながると期待される。

研究成果の概要(英文)：In this research project, we conducted genome analysis and functional analysis of bone and soft tissue tumors to elucidate their molecular pathogenesis and developing new therapeutics. Through a collaborative network of Japan sarcoma genome consortium consisting of 28 medical institutions and 14 research institutes, pairs of tumor and normal tissue of 20 target diseases (dedifferentiated liposarcoma, giant synovial cell tumor, epithelial sarcoma, and osteblastoma etc) were collected and RNA sequence and whole exome sequence of more than 400 samples was performed. As a result, CTDSP1 / 2-DNM30S fusion (dedifferentiated liposarcoma) was identified as a disease-specific fusion gene. We also identified frequent CBL mutations in tenosynovial giant cell tumors and useful prognostic markers for Desmoid tumors.

研究分野：ゲノム医学

キーワード：肉腫

1. 研究開始当初の背景

希少がんは人口 10 万人あたりの発生頻度が 6 人未満のがんと定義されており、症例数が少ないため診断や治療には経験のある病理診断医・臨床専門医の関与が必要であること、臨床研究や治験を進めにくいことから標準的治療の確立やガイドラインの策定が困難であることなどの課題を抱えている。特に骨軟部腫瘍は組織型が 200 種類程度に分類される多様性を示し、個々の組織型は非常に稀で大規模ゲノム解析が困難となっている。骨軟部腫瘍のゲノム解析においては染色体分析を中心に行われてきた歴史があり、軟部肉腫の約 1/3 においては腫瘍特異的な融合遺伝子が同定されている。一方、残りの 2/3 は複雑核型を示し、特異的な融合遺伝子は報告されていなかった。近年次世代シーケンサーを用いた網羅的解析技術を利用し、既存の解析では検出が困難であった腫瘍組織特異的な遺伝子変異や融合遺伝子などが同定可能となった。その結果、癌腫・血液性悪性腫瘍では非常に高い有効性を示す薬剤も開発されている。骨軟部腫瘍に対しても同様の手法が実施されるようになり、孤立性線維性腫瘍に特異的な融合遺伝子として NAB2-STAT6 が新たに同定され、ほぼ全例に証明されている。一方、複雑核型を示す代表的な肉腫である軟骨肉腫においても IDH1 や Col2A1 の変異や FN1-ACVR2A 等の融合遺伝子も明らかとなった。この様に融合遺伝子が未報告の腫瘍を対象としたゲノム解析を実施することで、新規融合遺伝子や driver 変異・治療標的分子の同定、さらには既存の病理組織学的な腫瘍分類の再編成につながると期待されている。しかしながら希少疾患である骨軟部腫瘍に対して癌腫と同様の解析を進めるには、単施設で十分な数の試料を集めることが困難であるため、多施設共同研究体制を構築し、統一プロトコール・フォーマットでの試料・臨床情報の収集から、中央病理診断、ゲノム解析、情報解析が一体として実施出来る体制整備が望まれている。

2. 研究の目的

本研究課題では、国内有数のがん基幹病院および研究機関との連携により、オールジャパンでの共同研究グループである骨軟部腫瘍ゲノムコンソーシアムを構築し、この基盤を通じた試料・臨床情報収集と希少がんに対するゲノム解析を実施することを目的とする。研究開始時点では 20 医療機関、8 研究機関からスタートしたが、順次協力機関を拡充し、試料収集と研究体制の整備をすすめる。本コンソーシアムを通じたゲノム解析をすすめることで、未だに十分に明らかにされていない代表的な骨軟部腫瘍に対して RNA sequence、全エクソンシーケンスを実施し、疾患特異的な融合遺伝子、遺伝子変異の同定を目指す。また頻度の高い融合遺伝子が同定された場合は、FISH や PCR などでの確認と、独立検体での検証、さらに予後など臨床情報との関連を進め、組織型特異的な融合遺伝子・遺伝子変異の全貌を明らかにする。

またコンソーシアムの取り組みや、基盤を通じて収集された症例数、解析状況などを論文や学会などで公開し、新規医療機関の参加募集や、国内外の研究グループとの共同研究の推進を進める。またゲノム解析結果は適宜 NBDC 等のデータベースへ公開する。最終的に腫瘍の個性を判定できる分子群を同定し、診断のバイオマーカーとして確立させるとともに、個々の患者に最適な治療を行う個別化医療の実現に役立てることを目的とする。

3. 研究の方法

本研究課題では、参加医療機関で前向きに統一した同意説明文書を用いて手術検体の収集

を行う。これらの検体についてコンソーシアム事務局がある東京大学医科学研究所に送付後、凍結切片を作成して、核酸の抽出と腫瘍含有量の評価を実施すると共に、骨軟部腫瘍の専門病理医による中央病理診断により診断確定を行う。これらの品質評価を経て解析対象となった検体について、RNA sequence、全エクソンシーケンスを実施する。解析結果は、東京大学医科学研究所で構築した解析パイプラインを用いて、融合遺伝子や腫瘍特異的な遺伝子反映の解析を実施する。5年間で対象とした疾患と症例数を以下に示す(表1)。

本課題では、骨軟部腫瘍の多様性の分子メカニズムの解明と新規治療方法の開発を目的として、骨軟部腫瘍のゲノム解析・機能解析を進めてきた。ゲノム解析の対象の13疾患(類上皮肉腫、類骨骨腫、骨芽細胞腫など)について骨軟部腫瘍ゲノムコンソーシアムに参加する各

表1. 解析対象疾患

Histological subtypes	Exome/ RNA Seq	Histological subtypes	Exome/ RNA Seq
Dedifferentiated liposarcomas	58/49	Chordoma	12/14
Tenosynovial Giant Cell Tumor	10/19	Osteoid Osteoma	0/7
Clear Cell Sarcoma	16/30	Osteoblastoma	0/3
Desmoid Fibromatosis	68/67	Osteofibrous dysplasia	0/28
Alveolar Soft Part Tissue Sarcoma	24/24	Adamantinoma	1/7
Secondary Peripheral Chondrosarcoma	12/11	Mammary type myofibroblastoma	0/2
Extraskeletal Osteosarcoma	12/12	Cellular angiofibroma	0/1
Myxoid Liposarcoma	30/75	PEComa	0/1
Epithelioid sarcoma	17/24	Granular Cell Tumor	0/7
Pleomorphic Liposarcoma	12/18	Index case with ambiguous diagnosis	0/19
		Sum	272/418

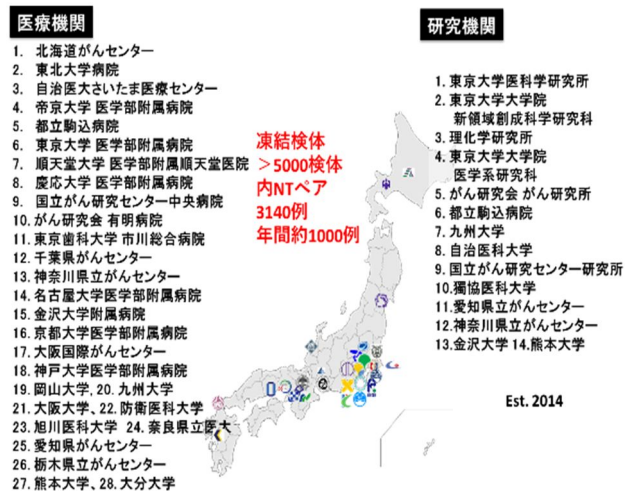
医療機関での腫瘍、正常検体の収集と臨床情報の整理を進めた。腫瘍凍結組織検体を東京大学に順次送付し、これまでに約500例の凍結腫瘍組織検体を新規に収集し、薄切のうえ核酸の抽出およびHE染色を行った。さらに腫瘍細胞の含有率の測定、および各医療機関より診断時に使用した病理標本および病理資料の収集を進め、中央病理診断施設である駒込病院、九州大学へ送付し、病理診断の確認を実施した。抽出した核酸の質と量を評価のうえ、理化学研究所の中川らが解析対象とした20疾患418検体についてRNAシーケンス解析を実施した。シーケンス結果については、東京大学医科学研究所の片山らが情報解析を実施し、疾患特異的な融合遺伝子の探索を行った。

4. 研究成果

(1) 骨軟部腫瘍ゲノムコンソーシアムの運営

本研究グループの活動について、学会などで広報を進めた結果新規の協力医療機関、研究機関に賛同頂き、令和2年度末時点で28医療機関、14研究機関の参加が得られた。またFunctional genomicsを目指し、国立がん研究センターなど4研究機関において患者由来肉腫モデルの樹立も開始した(図1)。本ネットワークを介して、新鮮腫瘍組織を用いたPDX,PDC樹立を全国規模で進め、肉腫特異的遺伝子変異の機能解析や治療薬のスクリーニングなどに活用をすすめる予定である。

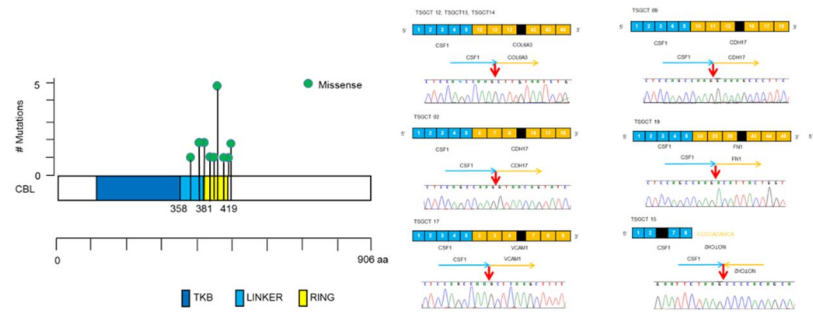
図1. 骨軟部腫瘍ゲノムコンソーシアム体制図



(2) Tenosynovial Giant cell tumor(TSGCT)のゲノム解析

TSGCT10例を対象として、RNAseq,WESを実施した。その結果疾患特異的な融合遺伝子としてCSF1-VCAM1,CSF1-FN1,CSF1-CDH1を同定した。またCBLのRing finger domain周辺の変異が35%に同定され、この変異を有する症例では予後不良であることが示された(図2)。CBL変異を有する症例ではJAK2経路の活性化を認めたことから、これらの症例ではJAK2阻害剤が有効となる可能性が示された(参考文献1)。

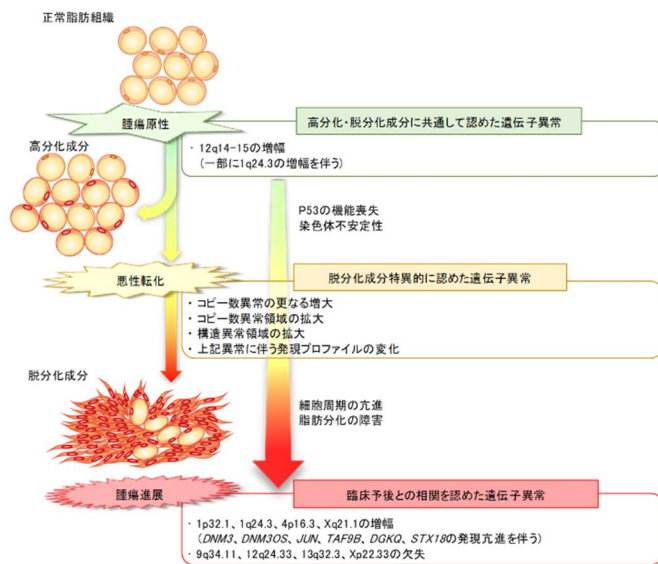
図2. TSGCTにおける遺伝子異常



(3) 脱分化型脂肪肉腫のゲノム解析

脱分化型脂肪肉腫を対象として約50例のRNAseq,WESを実施し、公開済みデータを含め112例の大規模ゲノム解析を実施した。その結果疾患特異的な融合遺伝子として、CTDSP1/2-DNM3OS fusionを同定した。また予後と関連する複数のCNV領域を同定し、前がん病変である高分化型脂肪肉腫から脱分化型脂肪肉腫の進展には、MDM2の増幅に伴うp53の不活性化によるゲノムの不安定性に起因するゲノムの構造異常が背景にあることが示された(参考文献2)。

図3. 脱分化型脂肪肉腫におけるゲノム異常

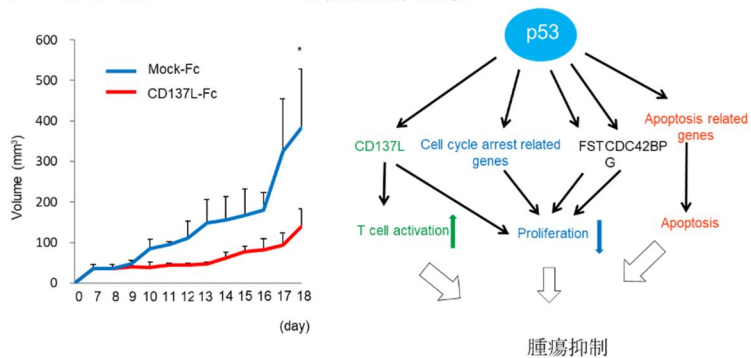


さらに粘液型脂肪肉腫の発現解析、Proteome解析により、複数の有用な予後マーカーが同定された。

(4) 骨肉腫の治療標的分子の同定

RNAsequenceによるp53の組織網羅的標的分子の探索の結果、骨組織特異的な標的分子としてCD137Iを同定した。CD137Iの過剰発現および分泌型のCD137Iが骨肉腫細胞に増殖抑制作用を示したことから、本分子が新規の骨肉腫治療薬になる可能性が示された(図4)(参考文献3)。

図4. 分泌型Cd137IIによる抗腫瘍効果



(5) Desmoid 腫瘍のゲノム解析

Desmoid 腫瘍 64 例のゲノム解析によって、既知の CTNNB1 変異に加え、6 番染色体の欠失が高頻度に認められたことから、これらの遺伝子変異が疾患発症原因と考えられた。また IFI6, LGMN, CKLF の発現が予後と強い相関を示すことから、有用な予後予測マーカーであることが示された（参考文献 4）。

（引用文献）

1. Massively parallel sequencing of tenosynovial giant cell tumors reveals novel CSF1 fusion transcripts and novel somatic CBL mutations. Tsuda Y, Hirata M, Matsuda K et al. *Int J Cancer*. 2019 145(12):3276-3284.
2. Integrated exome and RNA sequencing of dedifferentiated liposarcoma. Hirata M, Asano N, Matsuda K. et al. *Nat Commun* 2019 10(1):5683.
3. Identification of a p53 target, CD137L, that mediates growth suppression and immune response of osteosarcoma cells. Tsuda Y, Tanikawa C, Matsuda K. et al. *Sci Rep*. 2017 7(1):10739.
4. Comprehensive molecular and clinicopathological profiling of desmoid tumours. Kohsaka S, Matsuda K, Mano H et al. *Eur J Cancer* 2021 145:109-120.

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計94件（うち査読付論文 94件／うち国際共著 9件／うちオープンアクセス 34件）

1. 著者名 Hirata Makoto, Asano Naofumi, Matsuda Koichi et al.	4. 巻 10
2. 論文標題 Integrated exome and RNA sequencing of dedifferentiated liposarcoma	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Nature Communications	6. 最初と最後の頁 13286-13286
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1038/s41467-019-13286-z	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 Tsuda Yusuke, Hirata Makoto, Matsuda Koichi et al.	4. 巻 145
2. 論文標題 Massively parallel sequencing of tenosynovial giant cell tumors reveals novel CSF1 fusion transcripts and novel somatic CBL mutations	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 International Journal of Cancer	6. 最初と最後の頁 3276 ~ 3284
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1002/ijc.32421	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 Sekimizu Masaya, Yoshida Akihiko, Matsuda Koichi, Inagaki Katsunori, Kawai Akira, Ichikawa Hitoshi et al.	4. 巻 58
2. 論文標題 Frequent mutations of genes encoding vacuolar H ⁺ ATPase components in granular cell tumors	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Genes, Chromosomes and Cancer	6. 最初と最後の頁 373 ~ 380
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1002/gcc.22727	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 Hirata Makoto, Asano Naofumi, Katayama Kotoe, Matsuda Koichi et al.	4. 巻 10
2. 論文標題 Integrated exome and RNA sequencing of dedifferentiated liposarcoma	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Nature Communications	6. 最初と最後の頁 13286-13286
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1038/s41467-019-13286-z	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 Tsuda Yusuke, Hirata Makoto, Matsuda Koichi et al.	4. 巻 145
2. 論文標題 Massively parallel sequencing of tenosynovial giant cell tumors reveals novel CSF1 fusion transcripts and novel somatic CBL mutations	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 International Journal of Cancer	6. 最初と最後の頁 3276 ~ 3284
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/ijc.32421	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sekimizu Masaya, Yoshida Akihiko, Matsuda Koichi, Inagaki Katsunori, Kawai Akira, Ichikawa Hitoshi et al.	4. 巻 58
2. 論文標題 Frequent mutations of genes encoding vacuolar H + ATPase components in granular cell tumors	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Genes, Chromosomes and Cancer	6. 最初と最後の頁 373 ~ 380
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/gcc.22727	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yasui Yukihiko, Hart David A., Sugita Norihiko, Chijimatsu Ryota, Koizumi Kota, Ando Wataru, Moriguchi Yu, Shimomura Kazunori, Myoui Akira, Yoshikawa Hideki, Nakamura Norimasa	4. 巻 46
2. 論文標題 Time-Dependent Recovery of Human Synovial Membrane Mesenchymal Stem Cell Function After High-Dose Steroid Therapy: Case Report and Laboratory Study	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 The American Journal of Sports Medicine	6. 最初と最後の頁 695 ~ 701
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/0363546517741307	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nakai Takaaki, Imura Yoshinori, Tamiya Hironari, Yamada Shutaro, Nakai Sho, Yasuda Naohiro, Kaneko Keiko, Outani Hidetatsu, Takenaka Satoshi, Hamada Kenichiro, Myoui Akira, Araki Nobuhito, Ueda Takafumi, Itoh Kazuyuki, Yoshikawa Hideki, Naka Norifumi	4. 巻 6
2. 論文標題 Trabectedin is a promising antitumor agent potentially inducing melanocytic differentiation for clear cell sarcoma	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Cancer Medicine	6. 最初と最後の頁 2121 ~ 2130
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/cam4.1130	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Outani Hidetatsu, Imura Yoshinori, Tanaka Takaaki, Takenaka Satoshi, Oshima Kazuya, Hamada Kenichiro, Kakunaga Shigeki, Joyama Susumu, Naka Norifumi, Kudawara Ikuo, Ueda Takafumi, Araki Nobuhito, Yoshikawa Hideki	4. 巻 23
2. 論文標題 Clinical outcomes of patients with epithelioid sarcomas: impact and management of nodal metastasis	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 International Journal of Clinical Oncology	6. 最初と最後の頁 181 ~ 188
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10147-017-1179-x	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Fujiwara Tomohiro, Uotani Koji, Yoshida Aki, Morita Takuya, Nezu Yutaka, Kobayashi Eisuke, Yoshida Akihiko, Uehara Takenori, Omori Toshinori, Sugiu Kazuhisa, Komatsubara Tadashi, Takeda Ken, Kunisada Toshiyuki, Kawamura Machiko, Kawai Akira, Ochiya Takahiro, Ozaki Toshifumi	4. 巻 8
2. 論文標題 Clinical significance of circulating miR-25-3p as a novel diagnostic and prognostic biomarker in osteosarcoma	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Oncotarget	6. 最初と最後の頁 33375-33392
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18632/oncotarget.16498	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yamakawa Yasuaki, Tazawa Hiroshi, Hasei Joe, Osaki Shuhei, Omori Toshinori, Sugiu Kazuhisa, Komatsubara Tadashi, Uotani Kouji, Fujiwara Tomohiro, Yoshida Aki, Kunisada Toshiyuki, Urata Yasuo, Kagawa Shunsuke, Ozaki Toshifumi, Fujiwara Toshiyoshi	4. 巻 108
2. 論文標題 Role of zoledronic acid in oncolytic virotherapy: Promotion of antitumor effect and prevention of bone destruction	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Cancer Science	6. 最初と最後の頁 1870 ~ 1880
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.13316	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Uotani Koji, Fujiwara Tomohiro, Yoshida Aki, Iwata Shintaro, Morita Takuya, Kiyono Masahiro, Yokoo Suguru, Kunisada Toshiyuki, Takeda Ken, Hasei Joe, Numoto Kunihiko, Nezu Yutaka, Yonemoto Tsukasa, Ishii Takeshi, Kawai Akira, Ochiya Takahiro, Ozaki Toshifumi	4. 巻 7
2. 論文標題 Circulating MicroRNA-92b-3p as a Novel Biomarker for Monitoring of Synovial Sarcoma	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 14634-14634
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-017-12660-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yoshimoto Toyoki, Tanaka Miwa, Homme Mizuki, Yamazaki Yukari, Takazawa Yutaka, Antonescu Cristina R., Nakamura Takuro	4. 巻 77
2. 論文標題 CIC-DUX4Induces Small Round Cell Sarcomas Distinct from Ewing Sarcoma	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Cancer Research	6. 最初と最後の頁 2927 ~ 2937
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1158/0008-5472.CAN-16-3351	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Tanaka Miwa, Yoshimoto Toyoki, Nakamura Takuro	4. 巻 108
2. 論文標題 A double-edged sword: The world according to Capicua in cancer	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Cancer Science	6. 最初と最後の頁 2319 ~ 2325
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.13413	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Owa Tomoo, Taya Shinichiro, Miyashita Satoshi, Yamashita Mariko, Adachi Toma, Yamada Koyo, Yokoyama Miwa, Aida Shogo, Nishioka Tomoki, Inoue Yukiko U., Goitsuka Ryo, Nakamura Takuro, Inoue Takayoshi, Kaibuchi Kozo, Hoshino Mikio	4. 巻 38
2. 論文標題 Meis1 Coordinates Cerebellar Granule Cell Development by Regulating Pax6 Transcription, BMP Signaling and Atoh1 Degradation	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 The Journal of Neuroscience	6. 最初と最後の頁 1277 ~ 1294
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1523/JNEUROSCI.1545-17.2017	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tsuda Yusuke, Tanikawa Chizu, Miyamoto Takafumi, Hirata Makoto, Yodsurang Varalee, Zhang Yaozhong, Imoto Seiya, Yamaguchi Rui, Miyano Satoru, Takayanagi Hiroshi, Kawano Hirotaka, Nakagawa Hidewaki, Tanaka Sakae, Matsuda Koichi	4. 巻 7
2. 論文標題 Identification of a p53 target, CD137L, that mediates growth suppression and immune response of osteosarcoma cells	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 10739-10739
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-017-11208-x	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tanikawa Chizu, Ueda Koji, Suzuki Akari, Iida Aritoshi, Nakamura Ryoichi, Atsuta Naoki, Tohnai Genki, Sobue Gen, Saichi Naomi, Momozawa Yukihide, Kamatani Yoichiro, Kubo Michiaki, Yamamoto Kazuhiko, Nakamura Yusuke, Matsuda Koichi	4. 巻 22
2. 論文標題 Citrullination of RGG Motifs in FET Proteins by PAD4 Regulates Protein Aggregation and ALS Susceptibility	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Cell Reports	6. 最初と最後の頁 1473 ~ 1483
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.celrep.2018.01.031	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kanai Masahiro, Akiyama Masato, Takahashi Atsushi, Matoba Nana, Momozawa Yukihide, Ikeda Masashi, Iwata Nakao, Ikegawa Shiro, Hirata Makoto, Matsuda Koichi, Kubo Michiaki, Okada Yukinori, Kamatani Yoichiro	4. 巻 50
2. 論文標題 Genetic analysis of quantitative traits in the Japanese population links cell types to complex human diseases	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Nature Genetics	6. 最初と最後の頁 390 ~ 400
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41588-018-0047-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Akiyama Masato, Okada Yukinori, Kanai Masahiro, Takahashi Atsushi, Momozawa Yukihide, Ikeda Masashi, Iwata Nakao, Ikegawa Shiro, Hirata Makoto, Matsuda Koichi, Iwasaki Motoki, Shimizu Atsushi, Hozawa Atsushi, Minegishi Naoko, Tsugane Shoichiro, Yamamoto Masayuki, Kubo Michiaki, Kamatani Yoichiro	4. 巻 49
2. 論文標題 Genome-wide association study identifies 112 new loci for body mass index in the Japanese population	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Nature Genetics	6. 最初と最後の頁 1458 ~ 1467
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/ng.3951	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takahashi Yukie, Tanikawa Chizu, Miyamoto Takafumi, Hirata Makoto, Wang Guanxiong, Ueda Koji, Komatsu Tsunehiko, Matsuda Koichi	4. 巻 51
2. 論文標題 Regulation of tubular recycling endosome biogenesis by the p53-MICALL1 pathway	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 International Journal of Oncology	6. 最初と最後の頁 724 ~ 736
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3892/ijo.2017.4060	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Miyamoto Takafumi, Lo Paulisally Hau Yi, Saichi Naomi, Ueda Koji, Hirata Makoto, Tanikawa Chizu, Matsuda Koichi	4. 巻 3
2. 論文標題 Argininosuccinate synthase 1 is an intrinsic Akt repressor transactivated by p53	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Science Advances	6. 最初と最後の頁 1603204 ~ 1603204
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1126/sciadv.1603204	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Jingushi Kentaro, Uemura Motohide, Ohnishi Naomi, Nakata Wataru, Fujita Kazutoshi, Naito Takuya, Fujii Risa, Saichi Naomi, Nonomura Norio, Tsujikawa Kazutake, Ueda Koji	4. 巻 142
2. 論文標題 Extracellular vesicles isolated from human renal cell carcinoma tissues disrupt vascular endothelial cell morphology via azurocidin	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 International Journal of Cancer	6. 最初と最後の頁 607 ~ 617
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/ijc.31080	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Matsuda Tatsuo, Kato Taigo, Kiyotani Kazuma, Tarhan Yunus Emre, Saloura Vassiliki, Chung Suyoun, Ueda Koji, Nakamura Yusuke, Park Jae-Hyun	4. 巻 8
2. 論文標題 p53-independent p21 induction by MELK inhibition	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Oncotarget	6. 最初と最後の頁 57938-57947
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18632/oncotarget.18488	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Mukaihara Kenta, Tanabe Yu, Kubota Daisuke, Akaike Keisuke, Hayashi Takuo, Mogushi Kaoru, Hosoya Masaki, Sato Shingo, Kobayashi Eisuke, Okubo Taketo, Kim Youngji, Kohsaka Shinji, Saito Tsuyoshi, Kaneko Kazuo, Suehara Yoshiyuki	4. 巻 12
2. 論文標題 Cabozantinib and dastinib exert anti-tumor activity in alveolar soft part sarcoma	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 PLOS ONE	6. 最初と最後の頁 0185321-0185321
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0185321	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yamamoto Hidetaka, Iwasaki Takeshi, Yamada Yuichi, Matsumoto Yoshihiro, Otsuka Hiroshi, Yoshimoto Masato, Kohashi Kenichi, Taguchi Kenichi, Yokoyama Ryohei, Nakashima Yasuharu, Oda Yoshinao	4. 巻 73
2. 論文標題 Diagnostic utility of histone H3.3 G34W, G34R, and G34V mutant-specific antibodies for giant cell tumors of bone	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Human Pathology	6. 最初と最後の頁 41 ~ 50
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.humpath.2017.11.020	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kohashi Kenichi, Yamamoto Hidetaka, Yamada Yuichi, Kinoshita Izumi, Taguchi Tomoaki, Iwamoto Yukihide, Oda Yoshinao	4. 巻 42
2. 論文標題 SWI/SNF Chromatin-remodeling Complex Status in SMARCB1/INI1-preserved Epithelioid Sarcoma	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 The American Journal of Surgical Pathology	6. 最初と最後の頁 312 ~ 318
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/PAS.0000000000001011	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Iura Kunio, Kohashi Kenichi, Ishii Takeaki, Maekawa Akira, Bekki Hirofumi, Otsuka Hiroshi, Yamada Yuichi, Yamamoto Hidetaka, Matsumoto Yoshihiro, Iwamoto Yukihide, Oda Yoshinao	4. 巻 471
2. 論文標題 MAGEA4 expression in bone and soft tissue tumors: its utility as a target for immunotherapy and diagnostic marker combined with NY-ESO-1	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Virchows Archiv	6. 最初と最後の頁 383 ~ 392
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00428-017-2206-z	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takahashi Mitsuru, Takahashi Shunji, Araki Nobuhito, Sugiura Hideshi, Ueda Takafumi, Yonemoto Tsukasa, Morioka Hideo, Hiraga Hiroaki, Hiruma Toru, Kunisada Toshiyuki, Matsumine Akihiko, Shimura Masashi, Kawai Akira	4. 巻 22
2. 論文標題 Efficacy of Trabectedin in Patients with Advanced Translocation Related Sarcomas: Pooled Analysis of Two Phase II Studies	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 The Oncologist	6. 最初と最後の頁 979 ~ 988
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1634/theoncologist.2016-0064	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Akiyama Toru, Ogura Koichi, Gokita Tabu, Tsukushi Satoshi, Iwata Shintaro, Nakamura Tomoki, Matsumine Akihiko, Yonemoto Tsukasa, Nishida Yoshihiro, Saita Kazuo, Kawai Akira, Matsumoto Seiichi, Yamaguchi Takehiko	4. 巻 25
2. 論文標題 Analysis of the Infiltrative Features of Chordoma: The Relationship Between Micro-Skip Metastasis and Postoperative Outcomes	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Annals of Surgical Oncology	6. 最初と最後の頁 912 ~ 919
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1245/s10434-017-6268-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Fukushima Suguru, Endo Makoto, Matsumoto Yoshihiro, Fukushi Jun-ichi, Matsunobu Tomoya, Kawaguchi Ken-ichi, Setsu Nokitaka, Iida Keiichiro, Yokoyama Nobuhiko, Nakagawa Makoto, Yahiro Kenichiro, Oda Yoshinao, Iwamoto Yukihide, Nakashima Yasuharu	4. 巻 13
2. 論文標題 Correction: Hypoxia-inducible factor 1 alpha is a poor prognostic factor and potential therapeutic target in malignant peripheral nerve sheath tumor	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 PLOS ONE	6. 最初と最後の頁 0194508 ~ 0194508
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0194508	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Matsumoto Yoshihiro, Baba Shingo, Endo Makoto, Setsu Nokitaka, Iida Keiichiro, Fukushi Jun-ichi, Kawaguchi Kenichi, Okada Seiji, Bekki Hirofumi, Isoda Takuro, Kitamura Yoshiyuki, Honda Hiroshi, Nakashima Yasuharu	4. 巻 2017
2. 論文標題 Metabolic Tumor Volume by 18F-FDG PET/CT Can Predict the Clinical Outcome of Primary Malignant Spine/Spinal Tumors	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 BioMed Research International	6. 最初と最後の頁 1 ~ 8
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1155/2017/8132676	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yokoyama Nobuhiko, Matsunobu Tomoya, Matsumoto Yoshihiro, Fukushi Jun-ichi, Endo Makoto, Hatano Mihoko, Nabeshima Akira, Fukushima Suguru, Okada Seiji, Iwamoto Yukihide	4. 巻 7
2. 論文標題 Activation of ERK1/2 Causes Pazopanib Resistance via Downregulation of DUSP6 in Synovial Sarcoma Cells	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 45332 ~ 45332
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep45332	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kobayashi Hiroshi, Ito Nobuaki, Akiyama Toru, Okuma Tomotake, Kinoshita Yuka, Ikegami Masachika, Shinoda Yusuke, Fukumoto Seiji, Tanaka Sakae, Kawano Hirotaka	4. 巻 41
2. 論文標題 Prevalence and clinical outcomes of hip fractures and subchondral insufficiency fractures of the femoral head in patients with tumour-induced osteomalacia	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 International Orthopaedics	6. 最初と最後の頁 2597 ~ 2603
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00264-017-3610-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kobayashi Hiroshi, Okuma Tomotake, Oka Hiroyuki, Hirai Toshihide, Ohki Takahiro, Ikegami Masachika, Sawada Ryoko, Shinoda Yusuke, Akiyama Toru, Sato Kenji, Abe Satoshi, Kawano Hirotaka, Goto Takahiro, Tanaka Sakae	4. 巻 23
2. 論文標題 Neutrophil-to-lymphocyte ratio after pazopanib treatment predicts response in patients with advanced soft-tissue sarcoma	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 International Journal of Clinical Oncology	6. 最初と最後の頁 368 ~ 374
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10147-017-1199-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kobayashi Hiroshi, Ikegami Masachika, Ushiku Tetsuo, Anraku Masaki, Ohki Takahiro, Shinoda Yusuke, Tanaka Sakae, Kawano Hirotaka	4. 巻 2018
2. 論文標題 Secondary Chondrosarcoma Presenting with Symptoms Similar to Thoracic Outlet Syndrome	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Case Reports in Orthopedics	6. 最初と最後の頁 1 ~ 5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1155/2018/9347145	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nakayama Robert T, Pulice John L, Valencia Alfredo M, McBride Matthew J, McKenzie Zachary M, Gillespie Mark A, Ku Wai Lim, Teng Mingxiang, Cui Kairong, Williams Robert T, Cassel Seth H, Qing He, Widmer Christian J, Demetri George D, Irizarry Rafael A, Zhao Keji, Ranish Jeffrey A, Kadoch Cigall	4. 巻 49
2. 論文標題 SMARCB1 is required for widespread BAF complex-mediated activation of enhancers and bivalent promoters	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Nature Genetics	6. 最初と最後の頁 1613 ~ 1623
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/ng.3958	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Kikuta Kazutaka, Nakayama Robert, Yamaguchi Sayaka, Nishiwaki Yuuji, Susa Michiro, Nishimoto Kazumasa, Horiuchi Keisuke, Nakamura Masaya, Matsumoto Morio, Morioka Hideo	4. 巻 48
2. 論文標題 Wide-spread ignorance on the treatment of subcutaneous malignant tumors; a questionnaire-based study	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Japanese Journal of Clinical Oncology	6. 最初と最後の頁 130 ~ 134
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/jjco/hyx184	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kikuta Kazutaka, Nakayama Robert, Yoshida Akihiko, Sasaki Aya, Kameyama Kaori, Chuman Hirokazu, Kawai Akira, Nakamura Masaya, Matsumoto Morio, Morioka Hideo	4. 巻 47
2. 論文標題 A histological positive margin after surgery is correlated with high local re-recurrence rate in patients with recurrent myxofibrosarcoma	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Japanese Journal of Clinical Oncology	6. 最初と最後の頁 334-341
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/jjco/hyw199	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tsuda Yusuke, Ogura Koichi, Hakozaiki Michiyuki, Kikuta Kazutaka, Ae Keisuke, Tsuchiya Hiroyuki, Iwata Shintaro, Ueda Takafumi, Kawano Hirotaka, Kawai Akira	4. 巻 115
2. 論文標題 Mesenchymal chondrosarcoma: A Japanese Musculoskeletal Oncology Group (JMOG) study on 57 patients	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of Surgical Oncology	6. 最初と最後の頁 760 ~ 767
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/jso.24567	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kito Munehisa, Matusmoto Seichi, Ae Keisuke, Tanizawa Taisuke, Gokita Tabu, Kobayashi Hiroshi, Hayakawa Keiko, Funauchi Yuki	4. 巻 47
2. 論文標題 Pulmonary metastasis from giant cell tumor of bone: clinical outcome prior to the introduction of molecular target therapy	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Japanese Journal of Clinical Oncology	6. 最初と最後の頁 529 ~ 534
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/jjco/hyx033	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tsujino Shohei, Matsumoto Seiichi, Ae Keisuke	4. 巻 43
2. 論文標題 Tenosynovial giant cell tumour of the hand in children under 10 years of age	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of Hand Surgery (European Volume)	6. 最初と最後の頁 335 ~ 337
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/1753193417739518	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ikuta K, Ota T, Zhuo L, Urakawa H, Kozwa E, Hamada S, Kimata K, Ishiguro N, Nishida Y.	4. 巻 140
2. 論文標題 Antitumor effects of 4-methylumbelliferone, a hyaluronan synthesis inhibitor, on malignant peripheral nerve sheath tumor.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Int J Cancer	6. 最初と最後の頁 469-479
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/ijc.30460	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nishida Y, Tsukushi S, Urakawa H, Hamada S, Kozawa E, Ikuta K, Ishiguro N.	4. 巻 12
2. 論文標題 Simple resection of truncal desmoid tumors: A case series.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Oncology Letters	6. 最初と最後の頁 1564-1568
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3892/ol.2016.4792	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Futamura N, Urakawa H, Tsukushi S, Arai E, Kozawa E, Ishiguro N, Nishida Y.	4. 巻 11
2. 論文標題 Giant cell tumor of bone arising in long bones possibly originates from the metaphyseal region.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Oncology Letters	6. 最初と最後の頁 2629-2634
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3892/ol.2016.4264	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hayakawa, K., Matsumoto, S., Ae, K., Tanizawa, T., Gokita, T., Funauchi, Y., Motoi, N.	4. 巻 17(3)
2. 論文標題 Risk factors for distant metastasis of dermatofibrosarcoma protuberans	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 J. Orthop. Traumatol.	6. 最初と最後の頁 261-6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10195-016-0415-x	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kito M, Matusmoto S, Ae K, Tanizawa T, Gokita T, Kobayashi H, Hayakawa K, Funauchi Y.	4. 巻 4-Mar
2. 論文標題 Pulmonary metastasis from giant cell tumor of bone: clinical outcome prior to the introduction of molecular target therapy.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Jpn J Clin Oncol	6. 最初と最後の頁 1-6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/jjco/hyx033	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nakano, K., Motoi, N., Tomomatsu, J., Gokita, T., Ae, K., Tanizawa, T., Matsumoto, S., Takahashi, S.	4. 巻 16(1)
2. 論文標題 Risk factors for pneumothorax in advanced and/or metastatic soft tissue sarcoma patients during pazopanib treatment: a single-institute analysis	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 BMC Cancer	6. 最初と最後の頁 750
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12885-016-2786-z	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Akiyama T, Uehara K, Ogura K, Shinoda Y, Iwata S, Saita K, Tanzawa Y, Nakatani F, Yonemoto T, Kawano H, Davis AM, Kawai A.	4. 巻 22(1)
2. 論文標題 Cross-cultural adaptation and validation of the Japanese version of the Toronto Extremity Salvage Score (TESS) for patients with malignant musculoskeletal tumors in the upper extremities.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 J Orthop Sci.	6. 最初と最後の頁 127-132
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jos.2016.09.012	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Tsuda Y, Nakagawa T, Shinoda Y, Kanatani A, Kawai T, Taguchi S, Yamada Y, Sawada R, Kume H, Homma Y, Tanaka S, Kawano H.	4. 巻 Epub ahead of print
2. 論文標題 Skeletal-related events and prognosis in urothelial cancer patients with bone metastasis.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Int J Clin Oncol.	6. 最初と最後の頁 In press
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10147-016-1075-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tsuda Y, Ogura K, Kobayashi E, Hiruma T, Iwata S, Asano N, Kawai A, Chuman H, Ishii T, Morioka H, Kobayashi H, Kawano H.	4. 巻 2017/2/15
2. 論文標題 Impact of geriatric factors on surgical and prognostic outcomes in elderly patients with soft-tissue sarcoma.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Jpn J Clin Oncol	6. 最初と最後の頁 1-8
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/jjco/hyx016	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kobayashi H, Akiyama T, Okuma T, Shinoda Y, Oka H, Ito N, Fukumoto S, Tanaka S, Kawano H.	4. 巻 12
2. 論文標題 Three-dimensional fluoroscopic navigation-assisted surgery for tumors in patients with tumor-induced osteomalacia in the bones.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Comput Assist Surg	6. 最初と最後の頁 1-14
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/24699322.2017.1282044.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Masachika Ikegami, Takumi Matsumoto, Song Ho Chang, Hiroshi Kobayashi, Yusuke Shinoda, and Sakae Tanaka	4. 巻 2017
2. 論文標題 Anterior Impingement Syndrome of the Ankle Caused by Osteoid Osteoma in the Talar Neck Treated with Arthroscopy and 3D C-Arm-Based Imaging	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Case Reports in Orthopedics	6. 最初と最後の頁 6 pages
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1155/2017/2171627	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kinoshita Y, Arai M, Ito N, Takashi Y, Makita N, Nangaku M, Shinoda Y, Fukumoto S.	4. 巻 31
2. 論文標題 High serum ALP level is associated with increased risk of denosumab-related hypocalcemia in patients with bone metastases from solid tumors.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Endocr J.	6. 最初と最後の頁 479-84
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1507/endocrj.EJ16-0003.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Stacchiotti S, Gronchi A, Fossati P, Akiyama T, Alapetite C, Baumann M, Blay JY, Bolle S, Boriani S, Bruzzi P, Capanna R, Caraceni A, Casadei R, Colia V, Debus J, Delaney T, Desai A, Dileo P, Dijkstra S, Doglietto F, Flanagan A, Froelich S,	4. 巻 Epib
2. 論文標題 Best practices for the Management of Local-regional Recurrent Chordoma. A Position Paper by the Chordoma Global Consensus Group.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Ann Oncol.	6. 最初と最後の頁 In press
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/annonc/mdx054.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Akiyama T, Kanda S, Maeda A, Saita K.	4. 巻 21(1)
2. 論文標題 Inferior gluteal artery detection at the greater sciatic notch with a computer-assisted navigation system during pelvic and sacral tumor resection.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Comput Assist Surg (Abingdon)	6. 最初と最後の頁 18-24
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3109/24699322.2016.1174305	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hara H, Kawamoto T, Onishi Y, Fujioka H, Nishida K, Kuroda R, Kurosaka M, Akisue T.	4. 巻 55
2. 論文標題 Reconstruction of the Midfoot Using a Free Vascularized Fibular Graft After En Bloc Excision for Giant Cell Tumor of the Tarsal Bones: A Case Report.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 J Foot Ankle Surg	6. 最初と最後の頁 838-841
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1053/j.jfas.2015.04.020.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Fujimoto T, Andoh T, Sudo T, Fujita I, Fukase N, Takeuchi T, Sonobe H, Inoue M, Hirose T, Sakuma T, Moritake H, Sugimoto T, Kawamoto T, Fukumori Y, Yamamoto S, Atagi S, Sakurai Y, Kurosaka M, Ono K, Ichikawa H, Suzuki M.	4. 巻 106
2. 論文標題 Potential of boron neutron capture therapy (BNCT) for malignant peripheral nerve sheath tumors (MPNST).	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Appl Radiat Isot.	6. 最初と最後の頁 220-225
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.apradiso.2015.07.059.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Ishimaru D, Gotoh M, Takayama S, Kosaki R, Matsumoto Y, Narimatsu H, Sato T, Kimata K, Akiyama H, Shimizu K, Matsumoto K.	4. 巻 17
2. 論文標題 Large-scale mutational analysis in the EXT1 and EXT2 genes for Japanese patients with multiple osteochondromas.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 BMC Genet.	6. 最初と最後の頁 52
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12863-016-0359-4.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 Matsumoto Y, Harimaya K, Kawaguchi K, Hayashida M, Okada S, Doi T, Iwamoto Y.	4. 巻 41
2. 論文標題 Dumbbell Scoring System: A New Method for the Differential Diagnosis of Malignant and Benign Spinal Dumbbell Tumors.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Spine	6. 最初と最後の頁 E1230-E1236
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/BRS.0000000000001582	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Yokoyama T, Nakatake M, Kuwata T, Couzinet A, Goitsuka R, Tsutsumi S, Aburatani H, Valk PJM, Delwel R, Nakamura T	4. 巻 126
2. 論文標題 MEIS1-mediated transactivation of synaptotagmin like 1 promotes CXCL12/CXCR4 signaling and leukemogenesis.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 J Clin Invest	6. 最初と最後の頁 1664-1678
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1172/JCI81516	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Minas TZ, Surdez D, Tahereh J, Tanak M, Howarth M, Kang HJ, Han J, Han ZY, Sax B, Kream BE, Hong SH, Tirode F, Tuckermann J, Toretsky JA, Kenner L, Kovar H, Lee S, Sweet-Cordero A, Nakamura T, Moriggi R, Delattre O, Uren A	4. 巻 May 15
2. 論文標題 Combined experience of six independent laboratories attempting to create an Ewing sarcoma mouse model	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Oncotarget	6. 最初と最後の頁 9388
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18632/oncotarget.9388	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Tanaka M, Homme M, Yamazaki Y, Shimizu R, Takazawa Y, Nakamura T	4. 巻 77
2. 論文標題 Modeling alveolar soft part sarcoma unveils novel mechanisms of metastasis.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Cancer Res	6. 最初と最後の頁 897-904
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1158/0008-5472.CAN-16-2486	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nakamura T, Matsumine A, Kawai A, Araki N, Goto T, Yonemoto T, Sugiura H, Nishida Y, Hiraga H, Honoki K, Yasuda T, Boku S, Sudo A, Ueda T	4. 巻 122(9)
2. 論文標題 The clinical outcome of pazopanib treatment in Japanese patients with relapsed soft tissue sarcoma: A Japan Musculoskeletal Oncology Group (JMOG) study.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Cancer	6. 最初と最後の頁 1408-1416
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/cncr.29961	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Iwata S, Uehara K, Ogura K, Akiyama T, Shinoda Y, Yonemoto T, Kawai A	4. 巻 474(9)
2. 論文標題 Reliability and validity of a Japanese-language and culturally adapted version of the Musculoskeletal Tumor Society scoring system for the lower extremity.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Clin Orthop Relat Res	6. 最初と最後の頁 2044-2052
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11999-016-4880-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Morioka H, Takahashi S, Araki N, Sugiura H, Ueda T, Takahashi M, Yonemoto T, Hiraga H, Hiruma T, Kunisada T, Matsumine A, Susa M, Nakayama R, Nishimoto K, Kikuta K, Horiuchi K, Kawai A	4. 巻 16
2. 論文標題 Results of sub-analysis of a phase 2 study on trabectedin treatment for extraskeletal myxoid chondrosarcoma and mesenchymal chondrosarcoma.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 BMC Cancer	6. 最初と最後の頁 479
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12885-016-2511-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nakayama R, Zhang YX, Czaplinski JT, Anatone AJ, Sicinska ET, Fletcher JA, Demetri GD, Wagner AJ	4. 巻 Mar 29;7(13)
2. 論文標題 Preclinical activity of selinexor, an inhibitor of XPO1, in sarcoma.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Oncotarget	6. 最初と最後の頁 16581-92.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18632/oncotarget.7667	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Mori T, Nakayama R, Endo M, Hiraga H, Tomita M, Fukase N, Kobayashi E, Kawai A, Ueda T, Morioka H.	4. 巻 Sep;114(4)
2. 論文標題 Forty-eight cases of leiomyosarcoma of bone in Japan: A multicenter study from the Japanese musculoskeletal oncology group.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 J Surg Oncol	6. 最初と最後の頁 495-500
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/jso.24322	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kato I, Yoshida A, Ikegami M, Okuma T, Tonooka A, Horiguchi S, Funata N, Kaw	4. 巻 69(6)
2. 論文標題 FOSL1 immunohistochemistry clarifies the distinction between desmoplastic fibrob	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Histopathology	6. 最初と最後の頁 1012-1020
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/his.13042	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yoshida A, Kobayashi E, Kubo T, Kodaira M, Motoi T, Motoi N, Yonemori K, Ohe	4. 巻 印刷中
2. 論文標題 Clinicopathological and molecular characterization of SMARCA4-deficient thoracic	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Modern Pathology	6. 最初と最後の頁 印刷中
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/modpathol.2017.11	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Jeong JW, Kono M, Hasegawa-Murakami Y, Motoi T, Yokota K, Matsumoto T, Kaibu	4. 巻 4:97(1)
2. 論文標題 Angiofibroma of Soft Tissue on the Cheek: Diagnosis Confirmed by Gene Rearrangem	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Acta Derm Venereol	6. 最初と最後の頁 133-134
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2340/00015555-2461	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ito T, Kohashi K, Yamada Y, Iwasaki T, Maekawa A, Kuda M, Hoshina D, Abe R, Furue M, Oda Y.	4. 巻 Apr 27;7(7)
2. 論文標題 Prognostic Significance of Forkhead Box M1 (FOXM1) Expression and Antitumor Effect of FOXM1 Inhibition in Angiosarcoma.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 J Cancer	6. 最初と最後の頁 823-30
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.7150/jca.14461	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kohashi K, Tanaka Y, Kishimoto H, Yamamoto H, Yamada Y, Taguchi T, Iwamoto Y, Oda Y.	4. 巻 Oct;29(10)
2. 論文標題 Reclassification of rhabdoid tumor and pediatric undifferentiated/unclassified sarcoma with complete loss of SMARCB1/INI1 protein expression: three subtypes of rhabdoid tumor according to their histological features.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Mod Pathol	6. 最初と最後の頁 1232-42
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/modpathol.2016.106	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Iura K, Maekawa A, Kohashi K, Ishii T, Bekki H, Otsuka H, Yamada Y, Yamamoto H, Harimaya K, Iwamoto Y, Oda Y.	4. 巻 Mar;61
2. 論文標題 Cancer-testis antigen expression in synovial sarcoma: NY-ESO-1, PRAME, MAGEA4, and MAGEA1.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Hum Pathol	6. 最初と最後の頁 130-139
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.humphath.2016.12.006.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Suehara Y*, Osawa H, Kubota D, Kato S, Akaike K, Tanabe Y, Saito T, Kaneko K.	4. 巻 6 (3)
2. 論文標題 Large skin ulcer due to a subcutaneous orthopedic implant after bevacizumab therapy:	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 J Bone Joint Surg	6. 最初と最後の頁 e70
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2106/JBJS.CC.15.00281	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Mukaihara K, Suehara Y*, Kohsaka S, Kubota D, Toda-Ishii M, Akaike K, Fujimura T, Kobayashi E, Yao T, Ladanyi M, Kaneko K, Saito T.	4. 巻 16(1)
2. 論文標題 Expression of F-actin-capping protein subunit beta is associated with cell growth and motility in epithelioid sarcoma.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 BMC cancer.	6. 最初と最後の頁 206
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12885-016-2235-z.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Mukaihara K, Suehara Y*, Kohsaka S, Kubota D, Akaike K, Ishii M, Fujimura T, Okubo T, Takagi T, Yao T, Kaneko K, Ladanyi M, Saito T.	4. 巻 11(2)
2. 論文標題 Protein expression profiling of giant cell tumors of bone treated with denosumab.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 PLoS ONE	6. 最初と最後の頁 e0148401
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0148401.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sugita S, Hozumi T, Yamakawa K, Goto T, Kondo T.	4. 巻 25(4)
2. 論文標題 Risk factors for surgical site infection after posterior fixation surgery and intraoperative radiotherapy for spinal metastases.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Eur Spine J.	6. 最初と最後の頁 1034-1038
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00586-015-4116-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Fukushima H, Hozumi T, Goto T, Nihei K, Karasawa K, Nakanishi Y, Kataoka M, Tobisu K, Koga F.	4. 巻 33(7)
2. 論文標題 Prognostic significance of intensive local therapy to bone lesions in renal cell carcinoma patients with bone metastasis	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Clinical and Experimental Metastasis	6. 最初と最後の頁 699-705
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10585-016-9805-y.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Anazawa U, Watanabe I, Mizuno S and Hotta H.	4. 巻 5(4)
2. 論文標題 Long-term Follow-up of an Osteoid Osteoma of the Femoral Neck Treated with Percutaneous Procedure Under Computed Tomography Guidance.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Chemo Open Access	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4172/2167-7700.100i104	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Toda-Ishii M, Akaike K, Suehara Y, Mukaihara K, Kubota D, Kohsaka S, Okubo T, Mitani K, Mogushi K, Takagi T, Kaneko K, Yao T, Saito T.	4. 巻 29
2. 論文標題 Clinicopathological effects of protein phosphatase 2, regulatory subunit A, alpha mutations in gastrointestinal stromal tumors.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Modern Pathology	6. 最初と最後の頁 1424-1432
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/modpathol.2016.138.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yasuda T, Tsuzuki S, Kawazu M, Hayakawa F, Kojima S, Ueno T, Imoto N, Kohsaka S, Kunita A, Doi K, Sakura T, Yujiri T, Kondo E, Fujimaki K, Ueda Y, Aoyama Y, Ohtake S, Takita J, Sai E, Taniwaki M, Kurokawa M, Morishita S, Fukayama M, Kiyoi H, Miyazaki Y, Naoe T, Mano H.	4. 巻 48
2. 論文標題 Recurrent DUX4 fusions in B cell acute lymphoblastic leukemia of adolescents and young adults.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Nature Genetics	6. 最初と最後の頁 569-574
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/ng.3535.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takanobu Jotatsu, Shigehiro Yagishita, Ken Tajima, Fumiyuki Takahashi, Kaoru Mogushi, Moulid Hidayat, Aditya Wirawan, Ryo Ko, Ryota Kanemaru, Naoko Shimada, Keiko Mitani, Tsuyoshi Saito, Kazuya Takamochi, Kenji Suzuki, Shinji Kohsaka, Shinya Kojima, Hiroshi Mukae, Kazuhiro Yatera, Kazuhisa Takahashi.	4. 巻 9
2. 論文標題 LSD1/KDM1 isoform LSD1+8a contributes to neural differentiation in small cell lung cancer.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Biochemistry and Biophysics Reports	6. 最初と最後の頁 86-94
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Miwa S, Toneri M, Igarashi K, Yano S, Kimura H, Hayashi K, Yamamoto N, Tsuchiya H, Hoffman RM	4. 巻 117
2. 論文標題 Real-time in vivo confocal fluorescence imaging of prostate cancer bone-marrow micrometastasis development at the cellular level in nude mice	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 J Cell Biochem	6. 最初と最後の頁 2533-2537
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/jcb.25545.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takeuchi A, Yamamoto N, Shirai T, Hayashi K, Miwa S, Munesue S, Yamamoto Y, Tsuchiya H	4. 巻 16
2. 論文標題 Clinical relevance of peroxisome proliferator-activated receptor-gamma expression in myxoid liposarcoma	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 BMC Cancer	6. 最初と最後の頁 442
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12885-016-2524-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takeuchi A, Yamamoto N, Hayashi K, Miwa S, Takahira M, Fukui K, Oikawa T, Tsuchiya H	4. 巻 17
2. 論文標題 Tenosynovial giant cell tumors in unusual locations detected by positron emission tomography imaging confused with malignant tumors: report of two cases	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 BMC Musculoskelet Disord	6. 最初と最後の頁 180
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12891-016-1050-7	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Zhang Y-Z, Yamaguchi R, Imoto S, Miyano S	4. 巻 18
2. 論文標題 Sequence-specific bias correction for RNA-seq data using recurrent neural networks	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 BMC Genomics	6. 最初と最後の頁 1044
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12864-016-3262-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Moriyama T, Shiraishi Y, Chiba K, Yamaguchi R, Imoto S, Miyano S	4. 巻 16(2)
2. 論文標題 OVarCall: Bayesian Mutation Calling Method Utilizing Overlapping Paired-End Reads	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 IEEE Transactions on NanoBioscience	6. 最初と最後の頁 116-122
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1109/TNB.2017.2670601	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Osaki S, Tazawa H, Hasei J, Yamakawa Y, Omori T, Sugiu K, Komatsubara T, Fujiwara T, Sasaki T, Kunisada T,	4. 巻 30(6)
2. 論文標題 Ablation of MCL1 expression by virally induced microRNA-29 reverses chemoresistance in human osteosarcomas.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Sci Rep.	6. 最初と最後の頁 28953
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep28953.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Watanabe N, Sugimoto Y, Tanaka M, Mazaki T, Arataki S, Takigawa T, Kataoka M, Kunisada T, Ozaki T.	4. 巻 70
2. 論文標題 Neurological Recovery after Posterior Spinal Surgery in Patients with Metastatic Epidural Spinal Cord Compression.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Acta Med Okayama.	6. 最初と最後の頁 449-453
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 T. Miyamoto, P. H. Y. Lo, N. Saichi, K. Ueda, M. Hirata, C. Tanikawa, K. Matsuda	4. 巻 In press
2. 論文標題 Argininosuccinate synthase 1 is an intrinsic Akt repressor transactivated by p53	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Science Advance	6. 最初と最後の頁 In press
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 J. Mori, C Tanikawa, N. Ohnishi, Y. Funauchi, O. Toyoshima, K. Ueda, K. Matsuda	4. 巻 19
2. 論文標題 EPSIN 3, a novel p53 target, regulates the apoptotic pathway and gastric carcinogenesis	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Neoplasia	6. 最初と最後の頁 185-195
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neo.2016.12.010.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 C.D. Middlebrooks, A.R. Banday, K. Matsuda, K.I. Udquim, O.O. Onabajo, A. Paquin, J.D. Figueroa, B. Zhu, S. Koutros, M. Kubo, T. Shuin, N.D. Freedman, M. Kogevinas, N. Malats, S.J. Chanock, M. Garcia-Closas, D.T. Silverman, N. Rothman, L. Prokunina-Olsson	4. 巻 48
2. 論文標題 Association of germline variants in the APOBEC3 region with cancer risk and enrichment with APOBEC-signature mutations in tumors	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Nature Genetics	6. 最初と最後の頁 1330-1338
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/ng.3670.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Osanai T, Suzuki H, Hiraga H, Soma T, Nojima T.	4. 巻 25(1)
2. 論文標題 Extra-articular diffuse-type tenosynovial giant cell tumor with benign histological features resulting in fatal pulmonary metastases.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 J Orthop Surg	6. 最初と最後の頁 1-5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/2309499017690323	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tanaka K, Joyama S, Chuman H, Hiraga H, Morioka H, Yoshikawa H, Hosaka M, Takahashi M, Kubo T, Hatano H, Kaya M, Toguchida J, Nishida Y, Nagano A, Tsumura H, Iwamoto Y.	4. 巻 8;14(1)
2. 論文標題 Feasibility and efficacy of gemcitabine and docetaxel combination chemotherapy for bone and soft tissue sarcomas: multi-institutional retrospective analysis of 134 patients.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 World J Surg Oncol.	6. 最初と最後の頁 306-314
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12957-016-1059-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計22件（うち招待講演 12件 / うち国際学会 6件）

1. 発表者名 松田浩一
2. 発表標題 疾患バイオバンクとがんゲノム研究
3. 学会等名 第69回日本電気泳動学会シンポジウム（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 松田浩一
2. 発表標題 疾患バイオバンクとがんゲノム研究
3. 学会等名 第26回 東北地区骨軟部腫瘍研究会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 松田浩一
2. 発表標題 骨軟部腫瘍ゲノムコンソーシアムにおけるゲノム解析
3. 学会等名 第4回 日本肉腫学会 学術シンポジウム (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 松田浩一
2. 発表標題 骨軟部腫瘍ゲノムコンソーシアム
3. 学会等名 第15回がんトランスレーショナルリサーチ (TR) ワークショップ (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 中井翔、吉川秀樹他
2. 発表標題 淡明細胞肉腫に対するEribulin mesilateの抗腫瘍効果
3. 学会等名 第32回日本整形外科学会基礎学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Nakai, S., Yoshikawa, H., et al.
2. 発表標題 Anti-tumor effects of Eribulin mesilate on clear cell sarcoma cell line.
3. 学会等名 Annual Meeting of the Connective Tissue Oncology Society (CTOS) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Outani, H., Yoshikawa, H., et al.
2. 発表標題 Clinical outcomes and management of nodal metastasis in the patients with epithelioid sarcoma.
3. 学会等名 Annual Meeting of the Connective Tissue Oncology Society (CTOS) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 小田義直、山元英崇、孝橋賢一、山田裕一
2. 発表標題 シンポジウム：軟部肉種の分子病理学的解析と治療への応用
3. 学会等名 第50回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会, 2017.7.13-14(7.13), 東京
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 小田義直
2. 発表標題 教育講演：軟部腫瘍のWHO分類と新たな疾患概念
3. 学会等名 第56回日本臨床細胞学会総会秋期大会, 2017.11.18-19(11.18), 福岡
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yoshinao Oda.
2. 発表標題 New immunomarkers for liposarcoma and its mimics.
3. 学会等名 107th Annual Meeting of USCAP (Invited lecture) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中山口バート
2. 発表標題 SMARCB1(BAF47)欠損腫瘍における発がん性SWI/SNF(BAF)複合体のプロテオーム解析
3. 学会等名 日本癌学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 中山口バート
2. 発表標題 SMARCB1の欠損はSWI/SNF複合体のクロマチンへの結合を不安定化させる
3. 学会等名 日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Koichi Matsuda
2. 発表標題 Cancer susceptible germline variants and their applications for precision medicine
3. 学会等名 The 1st International Conference for Precision Cancer Medicine (ICPC2017) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Koichi Matsuda
2. 発表標題 Multi-Omics analysis of tumor suppressor p53 signaling pathway
3. 学会等名 Program IARI symposium CRCL (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Koichi Matsuda and Japan Sarcoma Genome Consortium
2. 発表標題 Establishment of Japanese Sarcoma Genome Consortium (JSGC) for Genomic Analysis
3. 学会等名 11th APMSTS Meeting (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 松田 浩一、骨軟部腫瘍ゲノムコンソーシアム
2. 発表標題 骨軟部腫瘍ゲノムコンソーシアムによる 共同研究体制の構築
3. 学会等名 日本整形外科学会学術総会 (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 松田 浩一、骨軟部腫瘍ゲノムコンソーシアム
2. 発表標題 骨軟部腫瘍ゲノムコンソーシアムを通じた ゲノム研究 ネットワークの構築
3. 学会等名 第 49 回日本整形外科学会 骨・軟部腫瘍学術集会 (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 松田 浩一、骨軟部腫瘍ゲノムコンソーシアム
2. 発表標題 骨軟部腫瘍ゲノムコンソーシアムを通じた ゲノム研究 ネットワークの構築
3. 学会等名 第 14 回日本臨床腫瘍学会学術集会 (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 松田浩一
2. 発表標題 次世代DNAシーケンスによるがんの個別化医療の可能性
3. 学会等名 がん治療学会（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 平賀博明、田仲和宏、中馬広一、森岡秀夫、松峯昭彦、戸口田淳也、永野昭仁、米本司、西田佳弘、福田治彦、岩本幸英
2. 発表標題 骨・軟部腫瘍領域でのエビデンス構築に向けた日本臨床腫瘍研究グループの取り組み
3. 学会等名 第89回日本整形外科学会学術総会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 岩田慎太郎、米本司、川井章、平賀博明、外堀司、秋山達、角永茂樹、篠田裕介、末原義之、綿貫宗則、上田孝文
2. 発表標題 骨・軟部悪性腫瘍患者における症候性静脈血栓塞栓症発症のリスクファクター -骨軟部肉腫治療研究会(JMOG)前向き観察研究-
3. 学会等名 第89回日本整形外科学会学術総会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 小倉浩一、藤原智洋、康永秀生、松居宏樹、JeonDae-Geun、平賀博明、石井猛、米本司、鴨田博人、尾崎敏文、小澤栄史、西田佳弘、森岡秀夫、比留間徹、角永茂樹、上田孝文、荒木信人、中紀文、津田祐輔、河野博隆、川井章
2. 発表標題 骨肉腫における予後予測ノモグラムの開発と外的妥当性の検証
3. 学会等名 第89回日本整形外科学会学術総会
4. 発表年 2016年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	中村 卓郎 (Nakamura Takuro) (00180373)	公益財団法人がん研究会・がん研究所 発がん研究部・部長 (72602)	
研究分担者	中山 タラントロバート (Nakayama Taranto Robert) (00365298)	慶應義塾大学・医学部(信濃町)・講師 (32612)	
研究分担者	竹中 聡 (Takenaka Satoshi) (00588379)	地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪国際がんセンター (研究所)・その他部局等・整形外科部長 (84409)	
研究分担者	高阪 真路 (Kohsaka Shinji) (00627119)	国立研究開発法人国立がん研究センター・研究所・ユニット 長 (82606)	
研究分担者	松本 嘉寛 (Matsumoto Yoshihiro) (10346794)	九州大学・医学研究院・准教授 (17102)	
研究分担者	植田 幸嗣 (Ueda Koji) (10509110)	公益財団法人がん研究会・がんプレジジョン医療研究セン ター がんオーダーメイド医療開発プロジェクト・プロジェ クトリーダー (72602)	
研究分担者	穴澤 卯圭 (Anazawa Ukei) (20245525)	東京歯科大学・歯学部・教授 (32650)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	比留間 徹 (Hiruma Tohru) (20254188)	地方独立行政法人神奈川県立病院機構神奈川県立がんセンター（臨床研究所）・その他部局等・部長 (82713)	
研究分担者	河野 博隆 (Kawano Takahiro) (20345218)	帝京大学・医学部・教授 (32643)	
研究分担者	阿江 啓介 (Ae Keisuke) (20376726)	公益財団法人がん研究会・有明病院 整形外科・部長 (72602)	
研究分担者	小林 寛 (Kobayashi Hiroshi) (20407951)	東京大学・医学部附属病院・講師 (12601)	
研究分担者	堀内 圭輔 (Horiuchi Keisuke) (30327564)	防衛医科大学校（医学教育部医学科進学課程及び専門課程、動物実験施設、共同利用研究施設、病院並びに防衛・整形外科学・准教授 (82406)	
研究分担者	河本 旭哉 (Kawamoto Teruya) (30420558)	神戸大学・医学研究科・特命講師 (14501)	
研究分担者	平賀 博明 (Hiraga Hiroaki) (30501530)	独立行政法人国立病院機構北海道がんセンター（臨床研究部）・臨床研究部・外科系診療部長 (80126)	
研究分担者	土屋 弘行 (Tsuchiya Hiroyuki) (40227434)	金沢大学・医学系・教授 (13301)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	坂本 昭夫 (Sakamoto Akito) (40335964)	京都大学・医学研究科・講師 (14301)	
研究分担者	朴木 寛弥 (Honogi Kanya) (40336863)	奈良県立医科大学・医学部・教授 (24601)	
研究分担者	秋山 達 (Akiyama Toru) (40376471)	自治医科大学・医学部・教授 (32202)	
研究分担者	片山 琴絵 (Katayama Kotoe) (40581195)	東京大学・医科学研究所・助教 (12601)	
研究分担者	大隈 知威 (Okuma Tomotake) (40806189)	東京都立駒込病院（臨床研究室）・骨軟部腫瘍科・医長 (82685)	
研究分担者	元井 亨 (Motoi Toru) (50291315)	東京都立駒込病院（臨床研究室）・病理科・医長 (82685)	
研究分担者	西田 佳弘 (Nishida Yoshihiro) (50332698)	名古屋大学・医学部附属病院・病院教授 (13901)	
研究分担者	中川 英刀 (Nakagawa Hidewaki) (50361621)	国立研究開発法人理化学研究所・生命医学研究センター・チームリーダー (82401)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	平田 真 (Hirata Makoto) (50401071)	国立研究開発法人国立がん研究センター・中央病院・医員 (82606)	
研究分担者	米本 司 (Yonemoto Tsukasa) (50506318)	千葉県がんセンター（研究所）・整形外科・部長 (82504)	
研究分担者	馬場 一郎 (Baba Ichiro) (60330073)	大阪医科大学・医学部・准教授 (34401)	
研究分担者	小田 義直 (Oda Yoshinao) (70291515)	九州大学・医学研究院・教授 (17102)	
研究分担者	末原 義之 (Suehara Yoshiyuki) (70509405)	順天堂大学・医学部・准教授 (32620)	
研究分担者	國定 俊之 (Kunisada Toshiyuki) (80346428)	岡山大学・医歯薬学総合研究科・准教授 (15301)	
研究分担者	山田 聡 (Yamada Satoshi) (80405208)	名古屋市立大学・医薬学総合研究院（医学）・講師 (23903)	
研究分担者	相羽 久輝 (Aiba Hisateru) (70793834)	名古屋市立大学・医薬学総合研究院（医学）・助教 (23903)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	松原 大祐 (Matsubara Daisuke) (80415554)	自治医科大学・医学部・准教授 (32202)	
研究分担者	川井 章 (Kawai Akira) (90252965)	国立研究開発法人国立がん研究センター・中央病院・科長 (82606)	
研究分担者	筑紫 聡 (Tsukushi Satoshi) (90378109)	愛知県がんセンター（研究所）・腫瘍免疫応答研究分野・研究員 (83901)	
研究分担者	山口 類 (Yanaguchi Rui) (90380675)	愛知県がんセンター（研究所）・システム解析学分野・分野長 (83901)	
研究分担者	綿貫 宗則 (Watanuki Munenori) (90451575)	東北大学・大学病院・講師 (11301)	
研究分担者	王谷 英達 (Outani Eitatsu) (60727965)	大阪大学・医学系研究科・助教 (14401)	
研究分担者	吉川 秀樹 (Yoshikawa Hideki) (60191558)	大阪大学・医学系研究科・理事・副学長 (14401)	削除：2019年9月17日
研究分担者	中 紀文 (Naka Norifumi) (90601964)	地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪国際がんセンター（研究所）・その他部局等・整形外科主任部長 (84409)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	岡本 健 (Okamoto Ken) (30414113)	京都大学・医学研究科・准教授 (14301)	
研究分担者	五嶋 孝博 (Goto Takahiro) (20272544)	東京都立駒込病院（臨床研究室）・骨軟部腫瘍科・部長 (82685)	
研究分担者	岩田 慎太郎 (Iwata Shintaro) (90549685)	千葉県がんセンター（研究所）・整形外科・主任医長 (82504)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関